

インテリア通信

処暑の候
高く澄んだ空と心地よい風が秋を呼んでいる
季節となって参りました。今号では富士山の
五合目に登場したかわいい絵やイラストで経
験した絨毯工房のお話を特集いたします。



画家

及川キータ

東京芸術大油画科を卒業。雑誌や広告でイラストレーションを手掛けているほか、曲に合わせたライブペインティング、展覧会など国内外で活動している。

富士山5合目の観光売店、富士山みはらし様の1階~3階の階段ホールの壁に、オリジナルウォールペイントが登場！作家の及川キータさんに描いてもらいました。「古代から現代までの時間の流れ」を意識し、富士山が60年に1度の庚申の年に誕生したといわれる伝説や富士山信仰の歴史などを紹介し、木花開耶姫命（このはなさくやひめのみこと）や神の使いとして崇められてきた猿、ジャクナゲなどの植物を描いています。また、吉田の火祭りやすすき祭り、富士講やサイクリストが山を登る様子なども描かれ、富士山の歴史やこの土地のことを楽しく知ることができます。



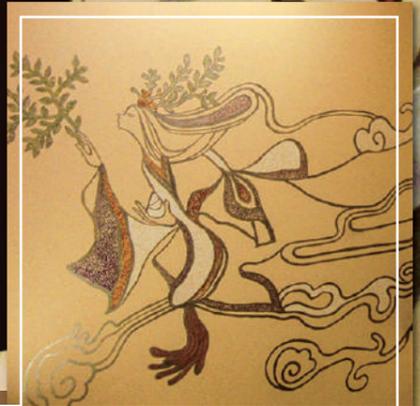
すすき祭り 8/27

女性は神輿を担ぐことができない代わりに参加するとも言われ、また、安産や子育てのご利益を受ける為とも言われています。



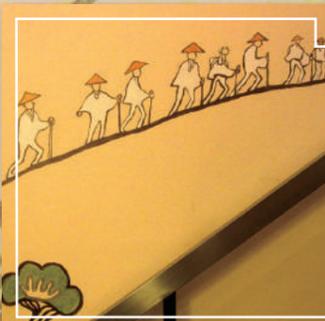
火祭り 8/26

木花開耶姫が火の燃え盛る産屋の中で無事に3人の子を産んだと言われています。そこから、防火や安産などのご利益があると言われています。



富士山の女神 木花開耶姫

昔から富士山の神様は女の神様だと言われてきました。平安時代の「富士山記」という書物には富士山の三兆で天女が舞っているのをみたという記録があるそうです。



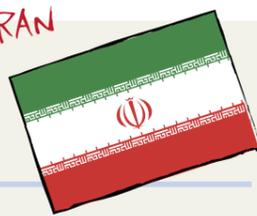
富士講

奈良時代の頃は富士山は登る山ではなくて、遥から拝むものでした。平安時代になると富士山には神様だけでなく仏様もいらっしゃるということで修行者が富士山を目指すようになりました。室町時代になると一般の人を連れて富士山に登るようになり、みんなでお金を出し合って富士山に登る富士講が江戸時代には盛んだったようです。



ギャッベを聞く・見る・知る旅 in イラン

IRAN



G20 の物々しい検問の中、ドバイ経由でイランはテヘラン、シラズ、イスファハン、クムへ行ってきました。



ペルセポリス



モスク

絨毯研修としてイランの文化や歴史を学ぶために約 2500 年前に建てられた世界遺産のペルセポリスやモスク、絨毯の博物館、そして沢山の絨毯工房を訪問し絨毯を作るまでの過程を見学しました。



絨毯工房の様子



糸を大釜で染める体験



遊牧民と泊ったテント



手織り体験中～

遊牧民キャンプ地の様子



四方を綺麗に処理

中でもザクロス山脈に暮らす遊牧民のキャンプ地に行くとテントに泊まりながら遊牧民の日常を見学させていただきました。貴重な経験をさせてもらいました。



放牧から戻ってくる様子



何千年と続くイランの人々がもつ伝統と技術、文化は本当に素晴らしいものでした。インテリアを通してこの素晴らしさを伝えてきたいと思います。現地で買い付けしたギャッベやペルシャ絨毯の展示販売会は以下の日程で予定しています。是非お越しください。スタッフ一同お待ちしております。

ギャッベができるまで



刈った羊毛で糸をつむぐ



大釜で糸を染め手織りをする



織りあがった絨毯の裏側にバーナーをあてムダ毛を焼く



専用石鹸でごしごし洗う



専用脱水機で脱水後天日干して乾かす



毛足の長さを揃えたり形を整えて完成!

第4回 ギャッベ&ペルシャ絨毯 展示・販売会

マノワが厳選したギャッベやペルシャ絨毯の素敵な世界をお楽しみください。会場では、工房での体験談や現地の様子をまとめたブースを設けたいと思います。製造過程や現地の人々の思いなどを感じてみて下さい。

at 御殿場 9月13日(金)～9月16日(月)
AM10:00～PM5:00 (最終日はPM4:00まで)
会場: 御殿場市民交流センター ふじざくら
(御殿場市萩原 988-1)

at 甲府 10月11日(金)～10月14日(月)
AM10:00～PM5:00 (最終日はPM4:00まで)
会場: アリア・ディ・フィレンツェ
(甲府市川田町アリア 205)



株式会社ワタナベ
MANOIR

〒403-0004 山梨県富士吉田市下吉田 5-33-31
TEL.0555-24-3111 FAX.0555-24-3123
http://www.manoir.co.jp
curtain@manoir.co.jp